

佐野美術館 で ひな祭り

展覧会名： 佐野美術館でひな祭り
会 期： 2023年2月18日[土]～4月2日[日]
会 場： 佐野美術館
開館時間： 午前10時～午後5時(入館の受付は午後4時30分まで)
休 館 日： 木曜日(2月23日は開館)
入 館 料： 一般・大学生1,100円 小・中・高校生550円 * 毎週土曜日は小中学生無料
主 催： 佐野美術館、三島市、三島市教育委員会
後 援： 静岡県教育委員会
協 賛： 伊豆箱根鉄道株式会社

展覧会の趣旨

佐野美術館は、2023年2月18日[土]～4月2日[日]の期間、当館所蔵・寄託の雛を展示し桃の節句を祝います。

江戸中期から流行した享保雛、江戸後期の名工・原舟月の作といわれる古今雛、江戸で評判を呼び見物人が絶えなかったという仁杉家旧蔵の極小雛飾り、旧家に伝わる明治の芥子雛、檜皮葺の屋根もみごとな大正の御殿飾り、そして愛らしくも気品ある京都生まれのおぼこ雛。江戸から現代までの優美なおひなさまが一堂に会します。

同時展示の「近代の創作人形」は平田郷陽をはじめ近代人形界を牽引した作家の傑作を、「墨彩の詩人 近藤浩一路のスケッチ」は伊豆にゆかりのある画家が捉えた味わい深い風景を紹介します。

展覧会のみどころ

恒例となっている佐野美術館のおひなさま展示は、近年さらにパワーアップしました。コレクションが充実し、バラエティーに富んだ内容となっています。

仁杉家旧蔵の極小雛飾りは、人手を転々とし日本国内のみならず一時は海外に渡った来歴を持ちながら、ほぼそのままの状態大切にされてきました。職人技の極致といえる贅を尽くした一式で、内裏雛は格式高い京の有職雛、牡丹唐草蒔絵のある道具類には江戸の名店「七澤屋」製が含まれ、さらにそれぞれの専門職に作らせたと思われる楽器、櫓時計などを擁する、趣味人が長い年月をかけて揃えた「江戸八丁堀の名物雛」です。

本展は、雛人形とともに日本の古人形もご覧いただけます。ふくよかな幼児姿の御所人形、極彩色が施された嵯峨人形、ちいさな木目込みの賀茂人形など、いずれも時代を越え人々に愛され受け継がれてきた作品です。

佐野美術館で、春らんまんのひな祭りをお楽しみください。

広報用画像

本展の紹介記事等を掲載される場合には、1～8の画像をデータで提供できます。メールか電話でご連絡ください。

※画像掲載をする場合、作品クレジットの明記をお願いします。



1.



3.



2.



4.



5.



6.



7.



8.

- | | |
|--|---|
| 1. 《享保雛》江戸時代 個人蔵 | 5. 《仁杉家旧蔵雛飾り 懸盤 二の膳》江戸時代 佐野美術館蔵 |
| 2. 伝原舟月《古今雛》江戸時代 佐野美術館蔵 | 6. 《嵯峨人形 母子》江戸時代 佐野美術館蔵 |
| 3. 《仁杉家旧蔵雛飾り 有職雛》江戸時代 佐野美術館蔵 | 7. 《御殿飾り》大正14年(1925) 佐野美術館蔵 |
| 4. 初代櫻木宗甫 頭・十二世面庄《おぼこ雛 内裏雛》
昭和6年(1931) 佐野美術館蔵 | 同時展示「近代の創作人形」 |
| | 8. 平田郷陽《金太郎》昭和26年(1951)
前島秀章・久代夫妻コレクション 佐野美術館蔵 |

お問い合わせ

佐野美術館 広報グループ 深沢・西脇

〒411-0838 静岡県三島市中田町1-43 TEL 055-975-7278 FAX 055-973-1790

URL <https://www.sanobi.or.jp/> EMAIL koho@sanobi.or.jp

※新型コロナウイルス感染症の今後の状況により、展覧会の内容を変更する場合があります。